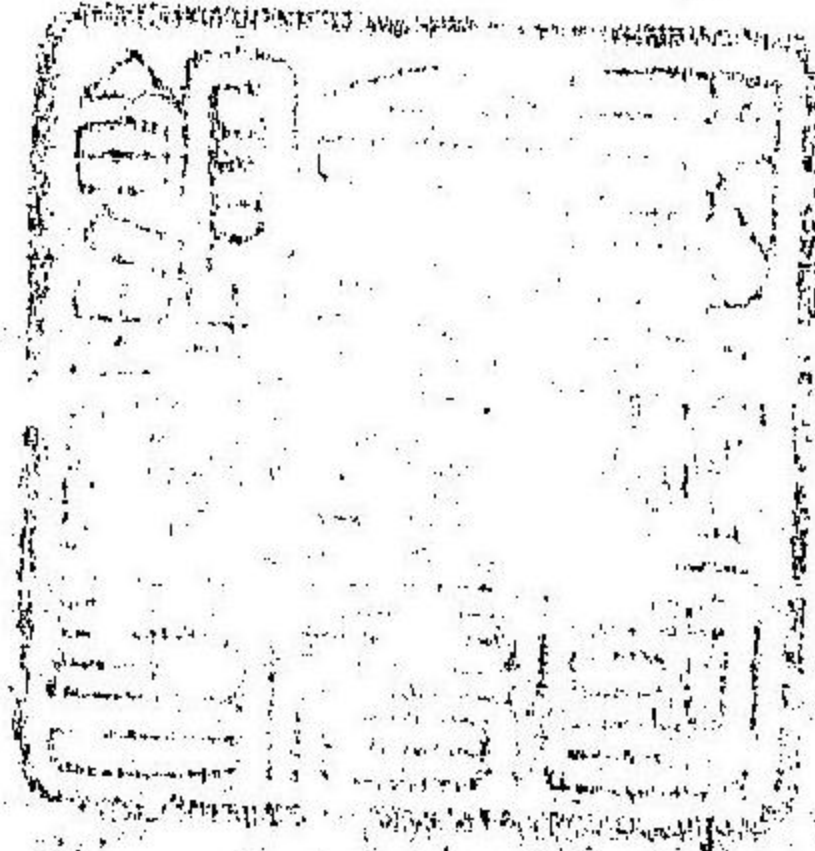


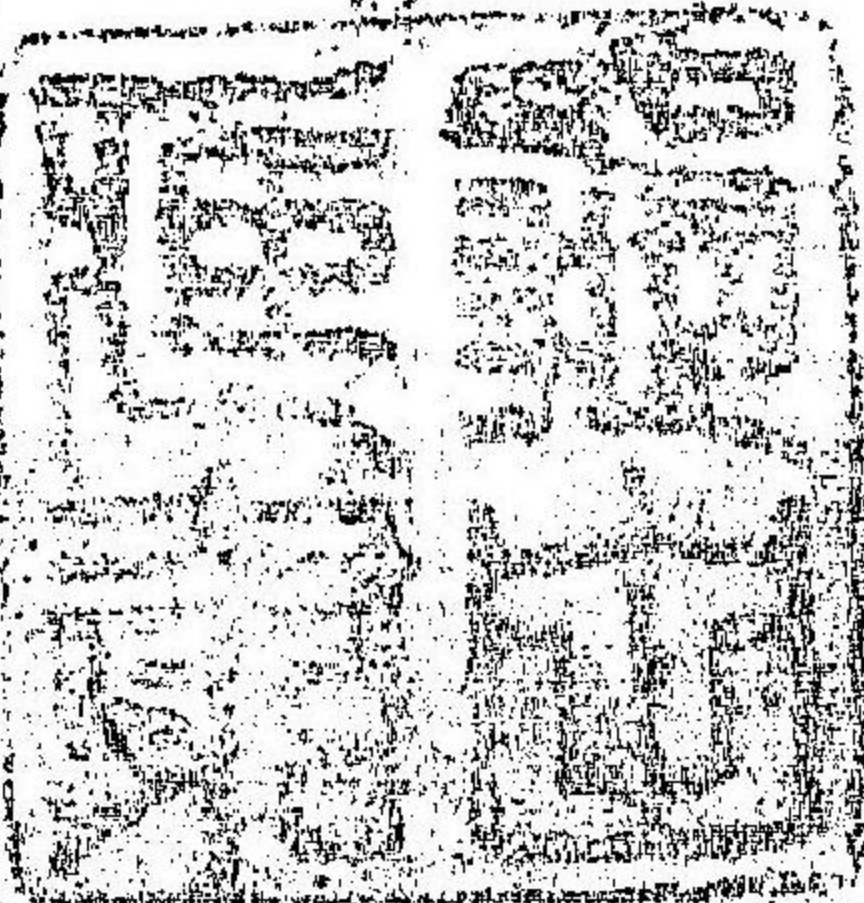
449.21

72/05



神武天皇即位紀元
二千五百三十三年

明治六年太陽曆



336368

太陽一周年三百六十五日五時四十分五十分秒トリ此三百六十
 五日ヲ以テ太陽曆一年ノ日數トシ之ヲ平年トス四年毎一
 此餘數五時四十八分五十分秒積リテ凡ソ一日コレヲ平年三
 百六十五日ニ加ハ三百六十六日之ヲ閏年トス而シテ一年
 ヲ十二ヶ月ニ分格シ一月三月五月七月八月十月十二月此
 七月ヲ大三十一日トス四月六月九月十一月此四ヶ月ヲ
 小三十日トス二月八月半年ヲ廿八日トシ閏年ヲ廿九日トス
 毎年如此其元太陽曠點ニ應シ月ヲ定ル故ニ二十四節氣ノ
 當日年々大差アルナシ

是ヲテ其日ノ時ヲ記スニ晝夜ヲ分テ十二時トナストイ
 ハ氏今ヨリ改メテ晝夜平分ノ法ヲ用ヒ今日子ノ刻ヨリ
 明日子ノ刻ニ至ル一晝夜ヲ二十四時トシ其一時ヲ六十
 分トス而シテ子ヨリ午ニ至ルヲ午前ノ十二時トシ午ヨ
 リ子ニ至ルヲ午後ノ十二時トス

太陽ト赤道ノ距離ヲ赤道緯度ト云其度數并ニ太陽視平
 經ハ其日午中ノ數ヲ記ルス

御歷代ノ御祭典并ニ四時ノ御祭祀等當日スヘテ其日ノ上
 御ニ記ルス

神武天皇即位紀元二千五百三十三年明治六年 太陽曆東京時刻

一月大三十日

太陰曆

天智天皇	清和天皇	崇神天皇	安寧天皇	元明天皇
一日 水	二日 木	三日 金	四日 土	五日 日
<small>日赤緯南三度五分三秒 時差三秋四秋視半至六分八秒</small>	<small>日赤緯南三度三分三秒 時差二秋。視半至六分八秒</small>			

烈天皇

小寒午後二時二十六分 日出午前七時十分
 日入午後四時五十分

十二月せろ

六日 月	七日 火	八日 水	九日 木	十日 金	十一日 土	十二日 日
<small>日赤緯南二度五十分五秒 時差二秋四秋視半至六分八秒</small>						
八日 月	九日 火	十日 水	十一日 木	十二日 金	十三日 土	十四日 日
<small>日赤緯南二度五十分五秒 時差二秋四秋視半至六分八秒</small>						

聖明天皇
東山院天皇

將統天皇

光仁天皇

孝明天皇祭

後花園院天皇

十三日	月	火	満月午前二時四十二分	十五日	つひのえとら
十四日	日	水	月最高午前十二時	十六日	つひのえとら
十五日	土	木	土用午前九時九分	十七日	つひのえとら
十六日	日	金		十八日	つひのえとら
十七日	月	土		十九日	つひのえとら
十八日	火	日		廿一日	つひのえとら
十九日	水	月		廿二日	つひのえとら
二十日	木	火		廿三日	つひのえとら
廿一日	金	水		廿四日	つひのえとら
廿二日	土	木		廿五日	つひのえとら
廿三日	日	金		廿六日	つひのえとら
廿四日	月	土		廿七日	つひのえとら
廿五日	火	日		廿八日	つひのえとら
廿六日	水	月		廿九日	つひのえとら
廿七日	木	火		三十日	つひのえとら
廿八日	金	水			
廿九日	土	木			
三十日	日	金			

大寒午前七時五十四分
日出午前七時一分
日入午後四時五十九分

十二月中

聖武天皇即位日

額野院天皇

孝安天皇
四條院天皇

景光院天皇

元祿天皇
高倉院天皇

廿九日	水	新月午前二時零五分 日入午後五時十分	癸酉正月小	一日	つひのえとら
三十日	木	日赤緯南一七度五分五秒 日入午後五時十分		二日	つひのえとら
三十一日	金	日赤緯南一七度五分五秒 日入午後五時十分		三日	つひのえとら
二月平二十八日					
一日	土	日赤緯南一七度五分五秒 日入午後五時十分		四日	つひのえとら
二日	日			五日	つひのえとら
三日	月			六日	つひのえとら
四日	火	上弦午後七時五分 日赤緯南一七度五分五秒 日入午後五時十分		七日	つひのえとら
五日	水	立春午前二時九分 日出午前六時四十九分 日入午後五時十一分		八日	つひのえとら
六日	木			九日	つひのえとら
七日	金			十日	つひのえとら
八日	土			十一日	つひのえとら
九日	日			十二日	つひのえとら
十日	月			十三日	つひのえとら
十一日	火			十四日	つひのえとら

立春午前二時九分
日出午前六時四十九分
日入午後五時十一分

正月廿七

仁德天皇
清寧天皇

天智天皇

天武天皇

天智天皇

天智天皇

新年祭

仲哀天皇
繼體天皇

尊賢天皇
花山院天皇

神宮竹竿祭

宣化天皇

救阿祭

圓融院天皇

應神天皇

十二日 水

滿月午後八時三十分月最高午後初時

十三日 木

十四日 金

十五日 土

十六日 日

十七日 月

十八日 火

日赤緯南一度五十七分四十四秒
時差五十七秒九分四十分六分三秒

雨水午後十時二十三分

日出午前六時三十四分
日入午後五時二十六分

正月 中

十九日 水

二十日 木

廿一日 金

廿二日 土

廿三日 日

廿四日 月

廿五日 火

廿六日 水

廿七日 木

新月午後初時四十一分

二月 小

廿八日 金

三月 大 三十一日

一日 土

日赤緯南七度五十五分六分
時差五十七秒九分四十分六分三秒

二日 日

三日 月

四日 火

五日 水

日赤緯南六度三十分六分
時差五十七秒九分四十分六分三秒

啓蟄午後八時四十四分

日出午前六時十七分
日入午後五時四十三分

二月 廿一

六日 木

上弦午前十時四十四分

七日 金

八日 土

九日 日

十日 月

日赤緯南四度六分三十分
時差五十八秒九分四十分六分三秒

十一日 火

月最高午後五時

十二日 水

十三日 木

十五日 土

十六日 日

十七日 月

十八日 火

十九日 水

二十日 木

廿一日 金

廿二日 土

後醍醐院天皇
天原野祭

後醍醐院天皇
後西院天皇
春李祭

春日祭

十四日 金 濡月午後三時五分

十五日 土

十六日 日

十七日 月

十八日 火

十九日 水

二十日 木

日赤緯南。度。九分五十六秒
一時差五九秒二微視半至一六分五秒

春分午後十時十一分
日出午前六時
日入午後六時

廿一日 金

廿二日 土

廿三日 日

廿四日 月

廿五日 火

廿六日 水

廿七日 木

廿八日 金

廿九日 土

新月午後十時十三分

三月 大

十六日 土

十七日 日

十八日 月

十九日 火

廿日 水

廿一日 木

廿二日 金

廿三日 土

廿四日 日

廿五日 月

廿六日 火

廿七日 水

廿八日 木

廿九日 金

三十日 土

三十一日 日

四月 小

三十日 日

三十一日 月

四月 小 三十日

一日 火

日赤緯北。度。四分三十分。二秒
一時差五七秒。加視半至一六分。二秒

二日 水

三日 木

四日 金

五日 土

上弦午前三時五十分。日赤緯北。度。三分五十二秒
一時差五六秒。九分。加視半至一六分。二秒

清明午前二時二十三分
日出午前五時四十三分
日入午後六時十七分

三月 せう

六日 日

七日 月

八日 火

九日 水

十日 木

日赤緯北。度。五分一十五秒
一時差五五秒。四分。加視半至一五分。九秒

十一日 金

十二日 土

十日 土

十一日 日

十二日 月

十三日 火

十四日 水

十五日 木

十六日 金

履中天皇

後白河院天皇

神武天皇祭
後村上天皇

神吉天皇

桓武天皇

十三日 日 滿月午前七時十分

十七日 きのこののい

仁明天皇

十四日 月

十八日 ひのえのい

愛徳天皇

十五日 火

十九日 ひのえのい

天和祭

十六日 水

廿日 つちのえのい

新和祭

十七日 木

廿一日 つちのえのい

穀雨

十八日 金

廿二日 りのえのい

穀雨

十九日 土

廿三日 りのえのい

穀雨

二十日 日

廿四日 りのえのい

穀雨

廿一日 月

廿五日 りのえのい

穀雨

廿二日 火

廿六日 りのえのい

穀雨

廿三日 水

廿七日 りのえのい

穀雨

廿四日 木

廿八日 ひのえのい

穀雨

廿五日 金

廿九日 ひのえのい

穀雨

廿六日 土

三十日 つちのえのい

穀雨

廿七日 日

三十一日 つちのえのい

穀雨

廿八日 月

四月 小

穀雨

廿九日 火

三月 中

穀雨

三十日 水

四月 小

穀雨

三十一日 火

三月 中

穀雨

五月 大 三十一日

四月 中

穀雨

一日 木

五月 中

穀雨

二日 金

六月 中

穀雨

三日 土

七月 中

穀雨

四日 日

八月 中

穀雨

五日 月

九月 中

穀雨

六日 火

十月 中

穀雨

七日 水

十一月 中

穀雨

八日 木

十二月 中

穀雨

九日 金

一月 中

穀雨

十日 土

二月 中

穀雨

十一日 日

三月 中

穀雨

十二日 月

四月 中

養一條院天皇
東照宮祭

櫻冷泉院天皇
稻荷祭

元正天皇

櫻町院天皇

賀茂祭
頭宗天皇

櫻園院天皇

香田祭

聖武天皇

德三條院天皇

淳和天皇

三條院天皇

清天皇

月食皆既

午後六時四十八分下ノ方ヨリ薄ハシメ八時三十八分ニ甚ニク
十時二十八分右ノ上ニ終ル西京ニテハ二分余虧チガハ出ツベシ

十三日	火		十七日	己のえとら
十四日	水		十八日	ひのえとら
十五日	木		十九日	ひのえとら
十六日	金		廿日	つちのえとら
十七日	土		廿一日	つちのえとら
十八日	日		廿二日	りのえむま
十九日	月	下弦午後八時十九分	廿三日	りのえむま
二十日	火	月最昇午前九時 <small>日赤緯正一九度五八分三秒 一時差三秒四加視率至一五分五秒</small>	廿四日	りのえむま
廿一日	水	<small>日赤緯正二一度四分五秒 一時差三秒五加視率至一五分五秒</small>	廿五日	りのえむま
廿二日	木		廿六日	のえいぬ
廿三日	金		廿七日	のえいぬ
廿四日	土		廿八日	ひのえね
廿五日	日		廿九日	ひのえとら
廿六日	月	新月午後六時三十九分	五月 大	のえとら
			五月 大	のえとら

小満 午前十時七分

日出午前四時五十九分
日入午後七時一分

四月中

廿七日	火		二日	つちのえとら
廿八日	水		三日	りのえとら
廿九日	木		四日	りのえとら
三十日	金	<small>日赤緯正二一度四分二秒 一時差三秒四加視率至一五分四八秒</small>	五日	のえむま
三十一日	土		六日	のえむま

六月小三十日

一日	日	<small>日赤緯正二一度三分二秒 一時差三秒五加視率至一五分四八秒</small>	七日	のえとら
二日	月	月最南午後九時	八日	のえとら
三日	火	上弦午後三時三十分	九日	ひのえいぬ
四日	水		十日	ひのえいぬ
五日	木		十一日	つちのえね
六日	金	<small>日赤緯正三度三十分二六秒 一時差一五秒六加視率至一五分四八秒</small>	十二日	つちのえいぬ
七日	土		五月 廿	
八日	日		十三日	りのえとら
九日	月		十四日	りのえとら
			十五日	りのえとら

芒種 午前一時三十三分

日出午前四時五十分
日入午後七時十分

五月廿

神農天皇

村上天皇
捕社祭

貴松祭

十日	火	日赤緯北三度一分九秒 時差一秋六〇視率至一五分四七秒	十六日	壬子のえとら	
十一日	水	満月午前七時二分	十七日	子のえむま	
十二日	木		十八日	丑のえのり	
十三日	金		十九日	寅のえさる	
十四日	土	月最昇午後七時	二十日	卯のえのら	
十五日	日		廿一日	辰のえいぬ	
十六日	月		廿二日	巳のえのね	
十七日	火		廿三日	午のえね	
十八日	水	下弦午前初時五分	廿四日	未のえのら	
十九日	木		廿五日	申のえさる	
二十日	金	日赤緯北三度二分二秒 時差一秋三〇視率至一五分四六秒	廿六日	酉のえのら	
廿一日	土	日赤緯北三度二分三秒 時差一秋三〇視率至一五分四六秒	廿七日	戌のえさる	
廿二日	日		廿八日	子のえのら	
廿三日	月		廿九日	丑のえむま	
廿四日	火		三十日	寅のえのら	
廿五日	水	新月午前六時三十分	六月小	二日	卯のえさる

夏至午後六時四十四分
日出午前四時四十七分
日入午後七時十三分

五月中

被

七月大三十日

廿六日	水		二日	つちのえのら	
廿七日	金		三日	りのえいぬ	
廿八日	土		四日	りのえのね	
廿九日	日		五日	らのえね	
三十日	月	最高午後三時一分 日赤緯北三度二分四三秒 時差一秋三〇視率至一五分四六秒	六日	らのえのら	
一日	火	最高午後三時五十二分 日赤緯北三度二分四三秒 時差一秋三〇視率至一五分四六秒	七日	らのえさる	
二日	水	上弦午前八時二十九分 半夏至	八日	らのえのら	
三日	木		九日	ひのえさる	
四日	金		十日	ひのえのら	
五日	土		十一日	つちのえむま	
六日	日		十二日	つちのえのら	
七日	月	日赤緯北三度二分四三秒 時差一秋三〇視率至一五分四六秒	十三日	りのえさる	
八日	火		六月	七日	つちのえのら
九日	水		八日	りのえさる	
十日	木		九日	りのえのら	
十一日	金		十日	ひのえさる	
十二日	土		十一日	ひのえのら	
十三日	日		十二日	つちのえむま	
十四日	月		十三日	つちのえのら	
十五日	火		六月	七日	つちのえのら
十六日	水		八日	りのえさる	
十七日	木		九日	りのえのら	
十八日	金		十日	ひのえさる	
十九日	土		十一日	ひのえのら	
二十日	日		十二日	つちのえむま	
廿一日	月		十三日	つちのえのら	
廿二日	火		六月	七日	つちのえのら
廿三日	水		八日	りのえさる	
廿四日	木		九日	りのえのら	
廿五日	金		十日	ひのえさる	
廿六日	土		十一日	ひのえのら	
廿七日	日		十二日	つちのえむま	
廿八日	月		十三日	つちのえのら	
廿九日	火		六月	七日	つちのえのら
三十日	水		八日	りのえさる	

小暑午後初時十分
日出午前四時五十分
日入午後七時十分

武藏川
天祭祭祭

淡路天皇

熱田祭
一條院天皇

光明院天皇
後宇多院天皇

十日	水	満月午後三時五分 <small>日赤緯北三度五分三秒</small>	十六日	土	つゆのえら
十一日	金	月最昇午後二時 <small>日赤緯北三度五分三秒</small>	十七日	土	つゆのえら
十二日	土	月最昇午後二時	十八日	日	つゆのえら
十三日	日		十九日	月	つゆのえら
十四日	月		二十日	火	つゆのえら
十五日	火		二十一日	水	つゆのえら
十六日	水		二十二日	木	つゆのえら
十七日	木	下弦午前六時十七分	二十三日	金	つゆのえら
十八日	金		二十四日	土	つゆのえら
十九日	土		二十五日	日	つゆのえら
二十日	日	<small>日赤緯北三度四分四秒</small>	二十六日	月	つゆのえら
二十一日	月	<small>日赤緯北三度四分四秒</small>	二十七日	火	つゆのえら
二十二日	火		二十八日	水	つゆのえら
二十三日	水	<small>日赤緯北三度四分四秒</small>	二十九日	木	つゆのえら
二十四日	木	<small>日赤緯北三度四分四秒</small>	三十日	金	つゆのえら
二十五日	金	<small>日赤緯北三度四分四秒</small>	三十一日	土	つゆのえら
二十六日	土				
二十七日	日				
二十八日	月	月最昇午前六時			
二十九日	火				
三十日	水	<small>日赤緯北三度四分四秒</small>			
三十一日	木	<small>日赤緯北三度四分四秒</small>			

大暑午前五時三十四分
日出午前四時五十九分
日入午後七時一分

閏六月大

六月 中

八月大三十一日

廿六日	土		三日	つゆのえら
廿七日	日		四日	つゆのえら
廿八日	月	月最昇午前六時	五日	つゆのえら
廿九日	火		六日	つゆのえら
三十日	水	<small>日赤緯北三度四分四秒</small>	七日	つゆのえら
三十一日	木	<small>日赤緯北三度四分四秒</small>	八日	つゆのえら
一日	金	上弦午後七時五分 <small>日赤緯北三度四分四秒</small>	九日	つゆのえら
二日	土		十日	つゆのえら
三日	日		十一日	つゆのえら
四日	月		十二日	つゆのえら
五日	火		十三日	つゆのえら
六日	水		十四日	つゆのえら
七日	木	<small>日赤緯北三度四分四秒</small>	十五日	つゆのえら
八日	金	立秋午後九時四十七分 日出午前五時十一分 日入午後六時四十九分	七月	せら
			十六日	つゆのえら

高野院天皇

廿四日	日	月	最高午後三時	廿七日	ひのえむま
廿三日	土	新月午前七時四十九分	日赤緯北二度三十分九秒	廿八日	ひのえむま
廿二日	金	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒	廿九日	ひのえむま
廿一日	木	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒	三十日	ひのえむま
二十日	水	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒	七月	中
十九日	火	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒	二日	つらね
十八日	月	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒		
十七日	日	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒		
十六日	土	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒		
十五日	金	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒		
十四日	木	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒		
十三日	水	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒		
十二日	火	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒		
十一日	日	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒		
十日	月	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒		
九日	土	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒		

處暑午後初時八分

日出午前五時二十六分
日入午後六時三十四分

七月大

七月 中

聖仁天皇

廿五日	月	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒	三日	つらね
廿六日	火	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒	四日	つらね
廿七日	水	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒	五日	つらね
廿八日	木	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒	六日	つらね
廿九日	金	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒	七日	つらね
三十日	土	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒	八日	つらね
三十一日	日	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒	九日	つらね

九月小三十日

安房祭

一日	月	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒	十日	ひのえむま
二日	火	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒	十一日	ひのえむま
三日	水	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒	十二日	ひのえむま
四日	木	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒	十三日	ひのえむま
五日	金	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒	十四日	ひのえむま
六日	土	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒	十五日	ひのえむま
七日	日	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒	十六日	ひのえむま
八日	月	日赤緯北二度三十分九秒	一時差四九秒五微視半至一五分四九秒	十七日	ひのえむま

桃園院天皇

嵯峨天皇

後深草院天皇

六條院天皇

白露午前初時三分
日出午前五時四十三分
日入午後六時十七分

八月 廿七

宇多院天皇
堀光院天皇

文天
天
齋明天皇

三條院天皇

孝
孝
孝

北野天皇
孝昭天皇
孝元天皇
仁賢天皇
安康天皇

井伊谷祭

大鳥祭
天
天
天

九日 火

十日 水

十一日 木

十二日 金

十三日 土

十四日 日

十五日 月

十六日 火

十七日 水

十八日 木

十九日 金

二十日 土

廿一日 日

廿二日 月

廿三日 火

廿四日 水

日赤緯北四度五十分三秒
二時差五十六秒九分五十分六秒

下弦午前初時五十分

月最北四度五十分
日赤緯北四度五十分
二時差五十六秒九分五十分六秒

新月午前三時十分

日赤緯南三度四十分四秒
二時差五十八秒五分九分九秒

秋分午前八時五十四分
日出午前六時
日八午後六時

八月小

社日

八月 中

十八日 きのえね

十九日 きののちのち

廿日 きのえとら

廿一日 ひのちのち

廿二日 つちのえとら

廿三日 つちのちのち

廿四日 りのえとら

廿五日 りのちのち

廿六日 きののえとら

廿七日 きののちのち

廿八日 きののえとら

廿九日 きののちのち

三十日 ひのえね

三日 つちのちのち

十月 大 三十一日

三十日 火

廿九日 月

廿八日 日

廿七日 土

廿六日 金

廿五日 木

廿四日 水

廿三日 土

廿二日 日

廿一日 月

廿日 火

十八日 水

上弦午前初時十五分
日赤緯南三度四十分四秒
二時差五十八秒五分九分九秒

日赤緯南三度四十分四秒
二時差五十八秒五分九分九秒

月最北四度

滿月午後二時五十分

日赤緯南五度五十分三秒
二時差五十七秒三分三秒

寒露午後二時四十六分
日出午前六時十七分
日八午後五時四十三分

九月 せう

十七日 きののちのち

十八日 きののちのち

十九日 きののちのち

二十日 きののちのち

廿一日 きののちのち

廿二日 きののちのち

廿三日 きののちのち

皇國祭
鹿島祭
後水尾院天皇
香取祭

光孝天皇
後醍醐天皇
後陽成天皇
白峯祭
文德天皇

孝元天皇
伏見院天皇

後奈良院天皇

懿德天皇
天武天皇
天智天皇

順德院天皇

龜山院天皇
石上祭

神宮邊拜
神宮神嘗祭

九日 木
十日 金
十一日 土
十二日 日
十三日 月
十四日 火
十五日 水
十六日 木
十七日 金
十八日 土
十九日 日
二十日 月
廿一日 火
廿二日 水
廿三日 木
廿四日 金
廿五日 土
廿六日 日
廿七日 月
廿八日 火
廿九日 水
三十日 木
三十一日 金

月最高午前一時
霜降午後五時十八分
日出午前六時三十四分
日入午後五時二十六分
九月大
九月 中

九月 中
十八日 土
十九日 日
二十日 月
廿一日 火
廿二日 水
廿三日 木
廿四日 金
廿五日 土
廿六日 日
廿七日 月
廿八日 火
廿九日 水
三十日 木
三十一日 金

十五日 水
十六日 木
十七日 金
十八日 土
十九日 日
二十日 月
廿一日 火
廿二日 水
廿三日 木
廿四日 金
廿五日 土
廿六日 日
廿七日 月
廿八日 火
廿九日 水
三十日 木
三十一日 金

月食皆既
午後十一時二十五分左、上ヨリ虧ハシマ翌午前
一時十分ニ甚シク二時五十五分下、右ニ終ル
十五日 水
十六日 木
十七日 金
十八日 土
十九日 日
二十日 月
廿一日 火
廿二日 水
廿三日 木
廿四日 金
廿五日 土
廿六日 日
廿七日 月
廿八日 火
廿九日 水
三十日 木
三十一日 金

後光明院天皇

天長節祭

國懸祭

後聖御院天皇
陽成院天皇
醍醐天皇

舒明天皇
孝德天皇
上御門院天皇

立冬午後五時三分
日出午前六時四十九分
日入午後五時十一分

九日 日
日赤緯南一七度。八分五九秒。附差四二秒。加視半至一六分三秒。

十日 月
下弦午前十時七分

十一日 火
月最高午後六時

十二日 水
十月大

十三日 木
十月大

十四日 金
十月大

十五日 土
十月大

十六日 日
十月大

十七日 月
十月大

十八日 火
十月大

十九日 水
十月大

二十日 木
十月大

二十一日 金
十月大

二十二日 土
十月大

二十三日 日
十月大

二十四日 月
十月大

二十五日 火
十月大

二十六日 水
十月大

二十七日 木
十月大

十月大 三十一日

二十八日 金
十月大

二十九日 土
十月大

三十日 日
十月大

三十一日 月
十月大

十一月 七
十月大

十一月 六
十月大

十一月 五
十月大

十月 廿九日

十月 廿八日

十月 廿七日

十月 廿六日

十月 廿五日

十月 廿四日

十月 廿三日

十月 廿二日

十月 廿一日

十月 廿日

十月 十九日

十月 十八日

十月 十七日

十月 十六日

十月 十五日

十月 十四日

十月 十三日

十月 十二日

十月 十一日

十月 十日

大雪午前九時十四分
日出午前七時十分
日入午後四時五十分

後小松院天皇

八日月
九日火

日赤緯南三度五分四秒
一時差一三秒一加視半五六一八分七秒

十九日さのえむま

廿日さのえむま

廿一日ひのえむま

廿二日ひのえむま

廿三日つちのえむま

廿四日つちのえむま

廿五日りのえむま

廿六日りのえむま

廿七日さのえむま

廿八日さのえむま

廿九日さのえむま

三十日さのえむま

十一月小

一日ひのえむま

二日ひのえむま

三日つちのえむま

十一月中

四日つちのえむま

淳仁天皇

十二日金

下弦午前七時五分月最高午後三時

冷泉院天皇

十三日土

十四日日

十五日月

十六日火

十七日水

十八日木

十九日金

二十日土

廿一日日

廿二日月

冬至午前二時五十一分

廿三日火

後醍醐院天皇

新月午前四時分
日赤緯南三度五分三秒
一時差一三秒一加視半五六一八分七秒

後醍醐院天皇

景峻天皇

景行天皇

廿四日水

廿五日木月最昇午前六時

廿六日金

廿七日土上弦午前二時二十四分

廿八日日

廿九日月

三十日火

日赤緯南三度一分五秒
一時差一三秒一加視半五六一八分七秒

三十一日水

明正院天皇

花園院天皇

大

各處時差表

東京ヲ以テ中度トナス東幾時トアル處ハ東京ヨリ其時刻早キ故本曆ニ掲クル立春幾時幾分ニ其時差ヲ加フレハ即其處ニテノ時刻ナリ又西何時何分トアル處ハ東京ヨリ其時刻遅キ故本曆時分ニ其時差ヲ減スレバ即其處ノ時刻トナルナリ

東京	。時。分。秒
箱館	。時。三分。四一秒東加
西京	。時。一分。六秒西減
兵庫	。時。一分。八秒西減
長崎	。時。三分。九秒西減
琉球	。時。四分。七秒西減

右之通御改正相成以各管内示
 残布令まゝの也

壬申十一月

堺縣廳

御用御書日物所

神明早大道

鈴木久三郎

第百八十七号

今般從前之曆を廢し別帝之通太陽曆

御用以相成候不仕事丁々皇國一般末

元十二月二日を從前大晦日として翌三

日明治六年之一月一日より定むん夫

より順次小一年十二月之數へ候義

小治新曆月日以相當し神祭を始

新曆月日以相當し神祭を始

免諸祝事等從前之通施行可致候最早
月迫不及候不_レ法_レ手_レ之_レ金銀取引等之
儀_レ手_レ法_レ手_レ混雜不_レ致_レ様小前末々
深_レく注意可_レ致_レ事
右之趣管舟魚波相達之_レの也

壬申

十一月

奈良縣令四條隆平

一 今般太陰曆を廢し太陽曆御頒行相
成候不_レ舟末_レ系十二月三日を以_レて明治
六年一月一日と被_レ定候事

但新曆鏤板出來次第頒布候事

一 一々年三百六十五日十二月小分_レ
四年毎小一日之間を置候事

一 時刻之儀是迄晝夜長短不_レ隨_レ以_レ十二

時不相分ち候處今後改と時辰儀時刻晝夜平分二十四時不定め子刻より午刻迄を十二時小分ち午前幾時と稱し午刻より子刻迄を十二時小分ち午後幾時と稱候事

一時鐘之儀來ふ一月一日より右時刻より可改事

但是迄時辰儀時刻を何字と唱來候處以後何時と可稱事

一 諸祭典等舊曆月日を新曆月日と相當し施行可致事

大陽曆一年三百六十五日 閏年三百六十六日 四年毎に置之

一月大 三十一日 其一日 即舊曆甲子二月三日
二月小 二十八日 閏年 其一日 同 癸酉正月四日

三月大 三十一日 其一日 同 二月三日
 四月小 三十日 其一日 同 三月五日
 五月大 三十一日 其一日 同 四月五日
 六月小 三十日 其一日 同 五月七日
 七月大 三十一日 其一日 同 六月七日
 八月大 三十一日 其一日 同 閏六月九日
 九月小 三十日 其一日 同 七月十日
 十月小 三十日 其一日 同 八月十日
 十一月大 三十一日 其一日 同 九月十日
 十二月大 三十一日 其一日 同 十月十日

大小每年替るる如し

時刻表

十二時 午刻	八時 辰刻	四時 寅刻	零時 <small>即午</small> 子刻
	九時 辰半刻	五時 寅半刻	一時 子半刻
	十時 巳刻	六時 卯刻	二時 丑刻
	十一時 巳半刻	七時 卯半刻	三時 丑半刻

表

九時 戌半刻	五時 申半刻	一時 午半刻
十時 亥刻	六時 酉刻	二時 未刻
十一時 亥半刻	七時 酉半刻	三時 未半刻
十二時 子刻	八時 戌刻	四時 申刻

右之通被定候事

壬申

十一月

太政官

詔書寫

朕惟小我邦通行之曆たは太陽之朝堂
 を以て月哉立て太陽之經度小令守故
 牙二三年間必ず閏月を置かざるを得
 十置閏の前後時小季候之早晚の終
 小推歩之差を生むる小至小殊小中下
 段小揚小下之如く之率小安誕無稽了

属し人知之開違が妨ふよの少しとせん
蓋し太陽曆は太陽之經度より従く月が
立つ日子多し之異なりと雖もも季候
早晚之變あり四歳毎一日之閏を置き
七千年之後僅一日之差を生ずるは
過るん之を太陽曆は比るん其も精密
小し其便不便も固く論を俟たず

あり依り自今舊曆は廢し太陽曆を
用以天下永世之を遵行せしめ百官
有司其れ斯旨を體せよ

明治五年壬申十一月九日

御一新後御整定相成候祭節人民ニ於テ其御趣意ヲ
解セサルヨリ産忽ニ相心得候輩モ有之哉ニテ不都合之
至ニ付今般畧解ヲ施シ別紙及布達候條右御趣
意相心得敬崇之意ヲ可盡此旨相達候事

明治五年正月十六日 堺 縣

元始祭 一月三日

此日宮中神殿に於てカレコトコロ賢所并に諸神御歷代皇靈を御
新祭あらせらる是天日嗣アマツヒツキの本始を歳首に祀り紹ふ是哉
あるを以て是を元始祭と稱すモトハジメ

孝明天皇祭 一月三日

皇統第百廿一代の天皇にて本月本日ハ山崩御事一日あり

御謚を孝明天皇と稱奉る

當今の皇考におはしませし此日を重く祭らせ給ふあり

後紀元節 オシナ 二月十一日

大祖神武天皇日向國より大和國に入らせ玉ひ不服の虎黨を
征し四海を平定して天子の位に即かせ玉ひ一日を皇國の
紀元とて祝ひ奉るあり

新嘗祭 二月四日

穀實の成熟に災ふらんことを神に祈り玉ふあり年々の稲の
ことにて豊年をこしあることありふあり本月四日朝廷より諸社
幣帛を班ち玉ひ到達の日ハ各神社ニ於て此祭あり穀實ハ人
間生活に第一のもの故殊更く玉ひての御祭あり

春季皇靈祭 三月二十一日 春分日

此日宮中に於て 神武天皇以下先帝迄御歴代并后始皇
親等をも御合祭執行はせらるゝ重き御祭日あり

神武天皇祭 四月三日

御實算一百廿七歳にて本月本日崩御ましませし山陵ハ
大和國畝傍山の東北にあし皇統の大祖におはせし
此日御陵にも勅使を立させられ 報本反始の御祭をあり
給ふあり

大赦祭式 六月三十日

穢奸凶惡に觸犯せしハ赦除せし神世よりの古例にて
伊邪那岐命ノ夜現の災穢を身潔し玉ふ事須佐之

男命の罪過を解除を玉ふ事筈に鑑鑄して諸人半年の間不覺も過ち犯しけん穢惡災過のあらんを祓除する事
神嘗祭 十月十七日

本年の新穀初穂を以て伊勢 両皇大神を郷食と玉ふ御祭あり此大神ハ穀實生植の始祖にをはしませハ此日伊勢に勅使を立させられて重く祭らせ玉ふあり

前 秋季皇靈祭 秋分日

春分日の御祭に同じ右春秋にて恒の御祭を命ね玉ふなり

天長節 十一月三日

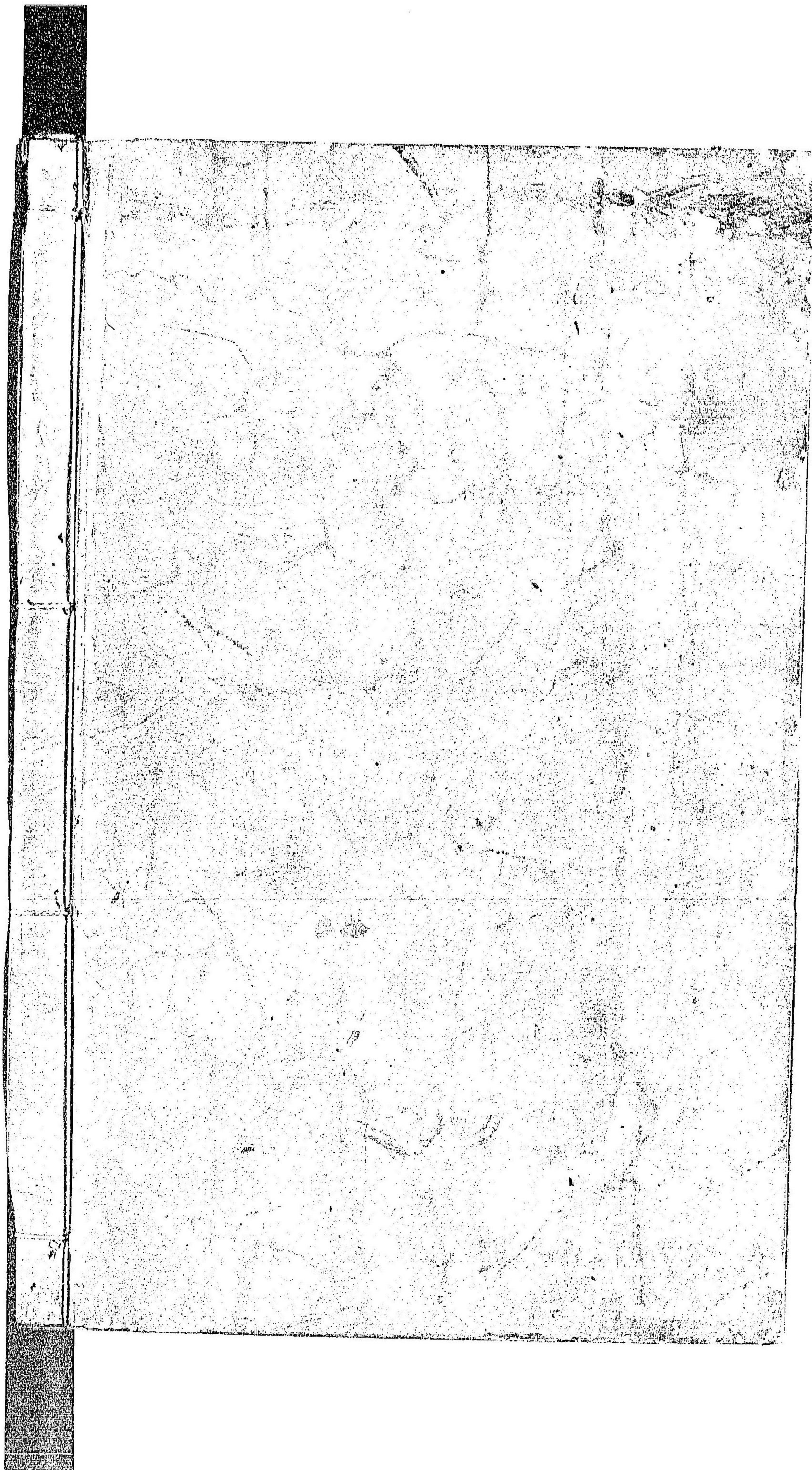
當今至尊の御降誕をたまふ日ハ殊更に祝はせ玉ふなり天長といふハ天長地久の意を以て壽稱し奉るなり

新嘗祭 十一月廿三日

これハ新穀を 天皇自らも聞食し神にも郷食し玉ふあり本月十日 朝廷より諸社へ幣帛を班ち玉ひ此日御祭あり新年祭ハ成熟お祈りこゝに至りて其成を告て祭るれハ新年に相對するの御祭あり

大祓祭式 十二月三十一日

六月三日の祭式に同じ世俗六月の大祓を知れとも十二月の大祓を知らざる者多し此夜を除夜といふも解除の意なり



056267-000-0

449.81-Ta165

太陽曆 明治6年

堺県庁

M5

CAK-0186



449.81
Ta165